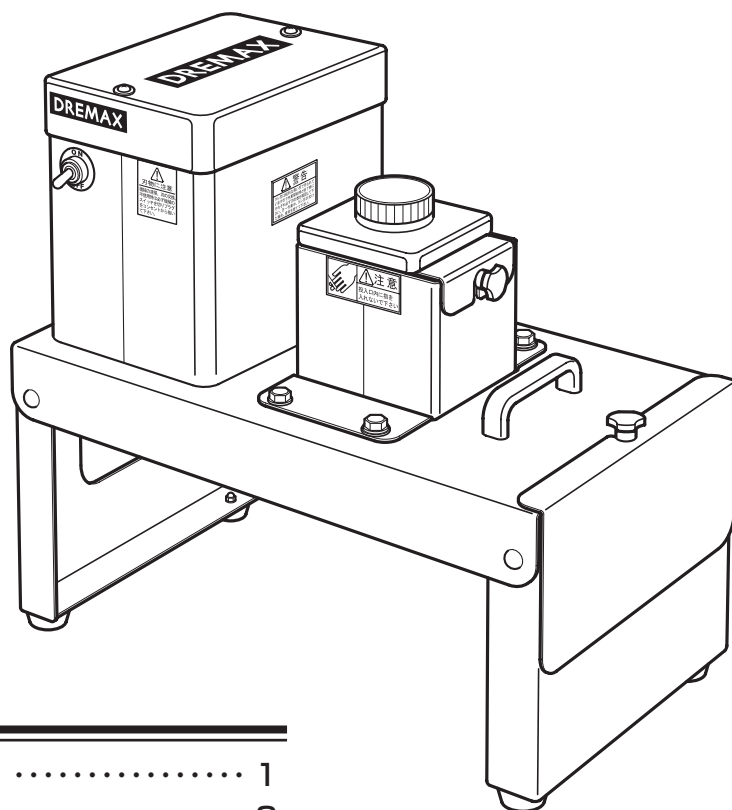


DREMAX

保証書付

1000切り口ボ DM-91D

取扱説明書



もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえ	3
お使いいただく前の準備と確認	4
正しい使い方	5
刃物盤と投入口ホルダーの 組合せ(別売品)	7
刃物盤の差替方法	9
刃物の交換方法	11
お手入れ方法	13
仕 様	14
ちょっとお調べください	14
保証とアフターサービス	裏表紙
保証書	裏表紙

- このたびは **DREMAX 1000切り口ボ DM-91D** をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- 製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分にご理解ください。
- 取扱説明書はお読みになられた後、いつでもお手元においてご使用ください。
- 保証書は取扱説明書の裏表紙に記載しております。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

安全上のご注意

- ご使用になる前に内容をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
- 警告・注意の指示と意味は次のようになっています。

 警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり物的損害※の発生が想定される内容を示します。

※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 刃物注意	△は、注意（警告を含む）を示します。具体的な注意事項は、△の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は " 刃物注意 " を示します。
 分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は " 分解禁止 " を示します。
 プラグを抜く	●は、強制（必ずやること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は " プラグを抜くこと " を示します。

警告

 使用禁止	本取扱説明書の記載内容が理解できない人は本機を使用しないでください。	事故の原因になります。
 分解禁止	修理技術者以外は、絶対に修理・改造をしないでください。	火災・感電・けがの原因になります。
 水濡れ禁止	本体を水に浸したり、電源コードを水につけたり、ON/OFF スイッチなどの電源部に水をかけないでください。	ショート・感電・故障の原因になります。
 接触禁止	運転中は可動部に手を近づけたり、投入口には絶対に手を入れないでください。また、刃物に直接手を触れないでください。	けがの原因になります。
 刃物注意	平刃・クシ刃は鋭利ですので、刃先の部分には絶対に手を触れないでください。特にお手入れや、平刃・クシ刃の交換の際には十分に注意してください。	けがの原因になります。
 禁止	運転中に各ユニットを本体からはずさないでください。	故障・破損・けがの原因になります。
 禁止	野菜以外のものを入れて運転しないでください。	故障・破損・けがの原因になります。

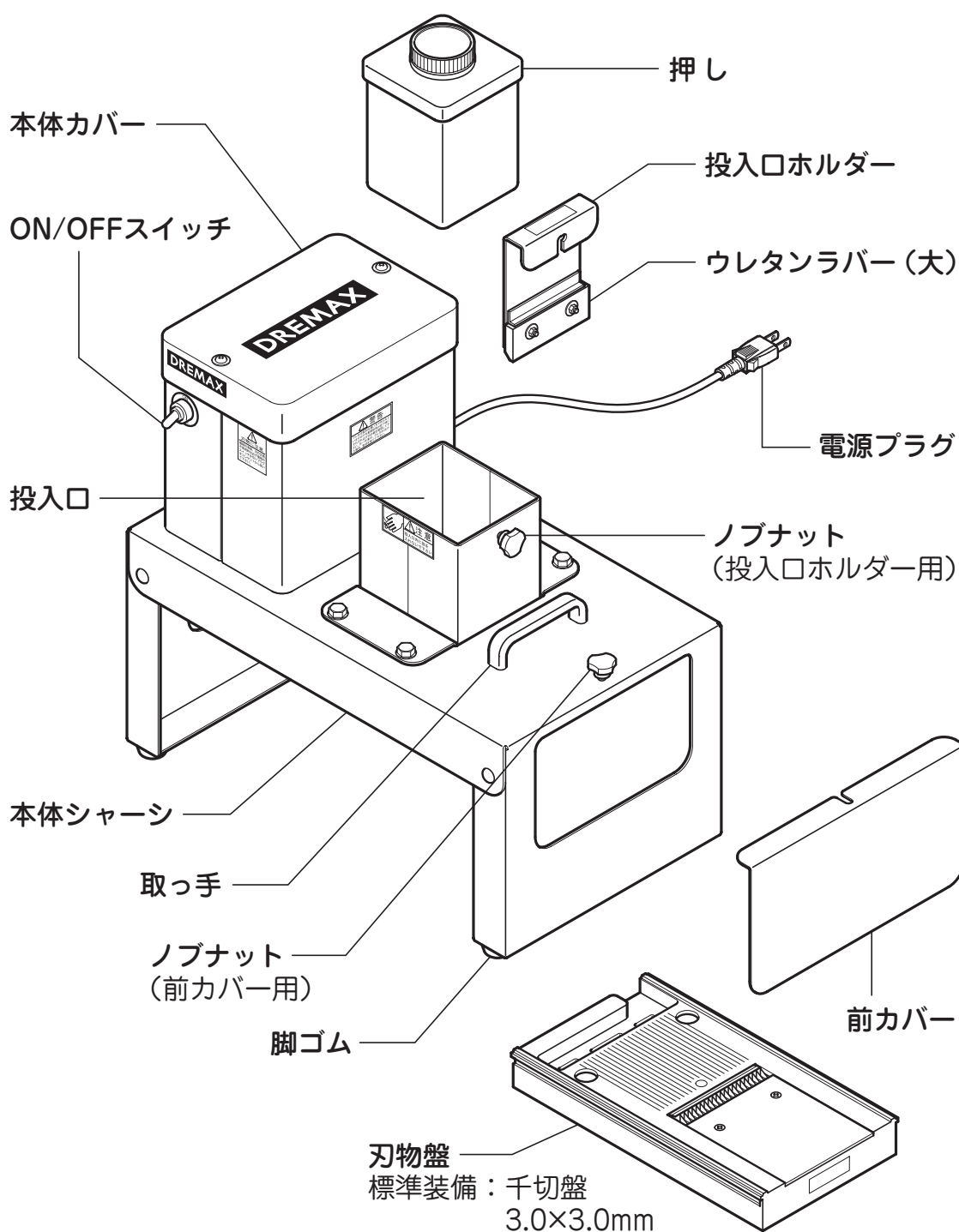
⚠ 警 告

 プラグを抜く	各ユニットの取り付け、取り外し、お手入れをする際は、必ず ON/OFF スイッチを「OFF」にし、機械が停止していることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いてください。	けが・感電の原因になります。
 強 制	刃物は鋭利な薄い刃で作られています。必ず、作業の開始前と終了時に刃物の状態を確認してください。万一、作業中に刃が欠けた場合は、カットした全ての食材を捨ててください。	けがの原因になります。
 禁 止	子どもに使用させないでください。 また、作業中に子どもを近づけないでください。	けが・感電をする恐れがあります。

⚠ 注 意

 禁 止	不安定な場所では使用しないでください。	機械の転倒による破損やけがの原因になります。
 強 制	交流 100V（定格）以外では使用しないでください。	火災・感電・故障の原因になります。
 禁 止	運転中に本体を移動させないでください。	けが・破損・故障の原因になります。
 プラグを持つ	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。	ショートや感電して発火する恐れがあります。
 強 制	電源プラグの抜き差しは、機械が停止していることを確認してからおこなってください。	破損・故障・けがの原因になります。
 禁 止	電源コードをキズつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引き抜いたりしないでください。 また、電源コードに重い物を載せたり、挟み込んだり、ガスコンロなどの熱源に近づけたりしないでください。	コードが破損し、火災・感電の原因になります。
 使用禁止	電源コードが傷んでいたり、電源プラグのコンセントへの差し込みがゆるい場合は、使用しないでください。	ショート・感電・発火の原因になります。
 強 制	モーター連続使用時間（常温の場合 30 分）を経過した場合は、ON/OFF スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜いて 30 分程度休止してください。	故障の原因になります。
 プラグを抜く	ご使用の時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。	絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

各部のなまえ



刃物盤・投入口ホルダーの別売オプション品を用意しております。7ページをご覧ください。

ご注文・ご相談は販売店までご連絡ください。

==== お使いいただく前の準備と確認 ====

※ 本機を初めてご使用になる場合は、必ず洗浄してからお使いください。

洗浄のしかたは「**お手入れ方法**」(14 ページ) を参照してください。

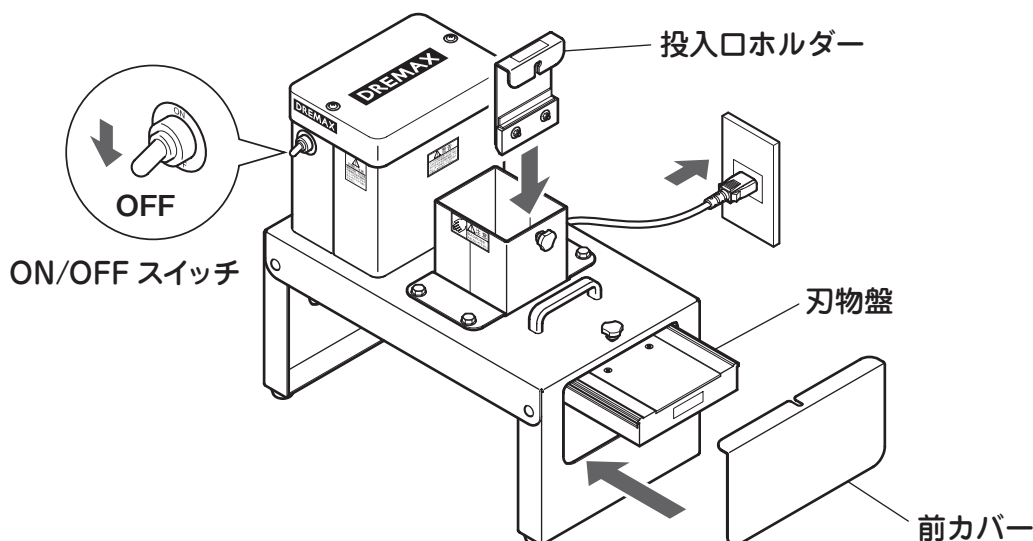
※ 運転中に停電になったときは、電源が復旧する前に必ず ON/OFF スイッチを「**OFF**」にし、復旧してから「**ON**」にしてください。

1. 本体を平らな場所に置いてください。
2. ON/OFF スイッチが「**OFF**」であることを確認してください。
3. 刃物盤に刃物が正しく取り付けられていることを確認してください。
(11 ページ「**刃物の交換方法**」を参照してクシ刃・平刃の位置や向きを確認してください。)
4. 本体に刃物盤を正しくセットし、投入口ホルダー、前カバーを取り付けてください。(取り付け手順は 9 ページ「**刃物盤の差替方法**」を参照してください。)

- 3.0×3.0mm 用の千切盤と投入口ホルダーが標準装備されています。
- オプション品の刃物盤をお使いになる場合は、その刃物盤のサイズに合った投入口ホルダーを必ず取り付けてください。

5. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

⚠ 警 告	
 水滴れ禁止	● 絶対に濡れた手で電源プラグを差し込まないでください。 感電の恐れがあります。
 プラグを持つ	● 電源プラグは必ずプラグを持って抜き差ししてください。 破損によるショート・感電の恐れがあります。

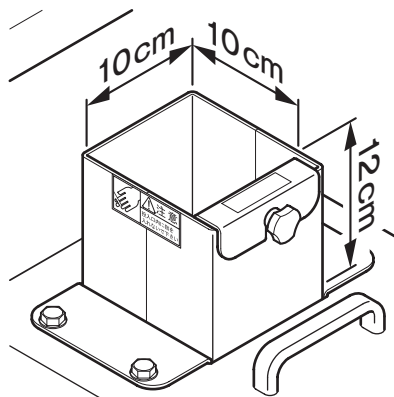


正しい使い方

1 食材を投入口に入る大きさに切ります。

- ◎ あらかじめ、カットする野菜を投入口に入る大きさに切ってください。

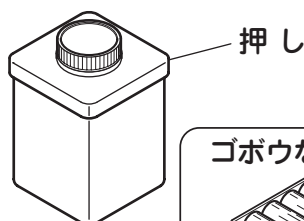
(投入口：10cm×10cm×高さ12cm)



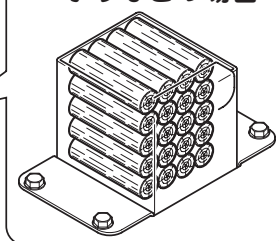
2 本体の下にカットした食材を受ける容器を置きます。

- ◎ 短時間で大量に作ることができますので、少し大きめの容器を用意してください。

ON/OFFスイッチ



ゴボウなどの場合

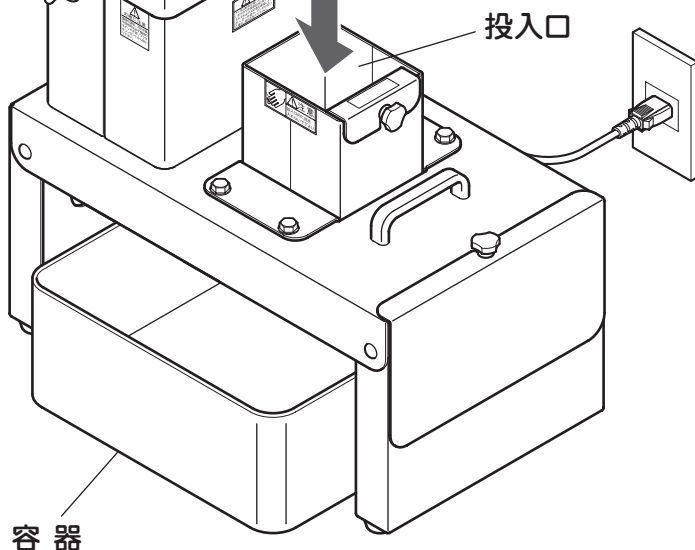


3 食材を刃物盤の往復方向と平行に寝かせて投入口に入れます。

- ◎ ゴボウなどの細い食材は、なるべく隙間なく並べて入れてください。
隙間があるとうまく切れない場合があります。

4 押しで投入口に入れた食材を押さえながらON/OFFスイッチを「ON」にします。

- ◎ 強く押しつけすぎないでください。



警告



接触禁止

危険ですので投入口へは絶対に手を入れないでください。
食材は必ず "押し" を使って押し込んでください。けがの原因になります。

- 5** 切り終わったら、一旦 ON/OFF スイッチを「OFF」にします。

⚠ 注 意



強制

食材を投入口に入れるときは、必ず ON/OFF スイッチを「OFF」にして機械を停止させてください。作動中に入れると、きれいに切ることができません。また、けがの原因になります。

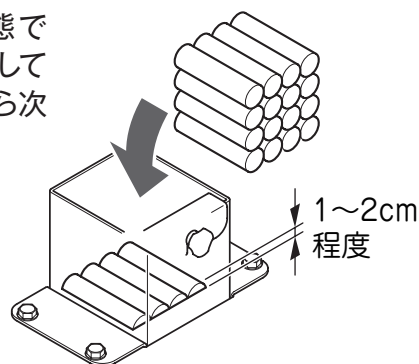
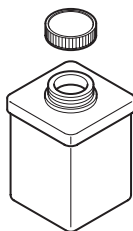
- 6** **3** ～ **5** を繰り返してください。

※長時間連続で使用し、モーターの温度が上がりますと、プロテクターが働いて自動的に機械が停止することがあります。その場合は ON/OFF スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて 30 分程度ご使用を休止してください。

ワンポイントアドバイス

- ① 投入口の中の食材が高さ 1～2cm 残っている状態で ON/OFF スイッチを「OFF」にし、次の食材を継ぎ足してください。（投入口の中の食材を全て切り終わってから次の食材を入れると、クズが出やすくなります。）

- ② 押しの中に水を入れると、おもしの役割をします。



⚠ 警 告



刃物注意



強制

クシ刃・平刃は鋭利な薄い刃で作られていますので取り扱いには十分ご注意ください。また、作業の開始時と終了時に、それぞれの刃の状態を必ず確認してください。万一、作業中に刃が欠けた場合は、カットしたすべての食材を捨ててください。けがの原因になります。

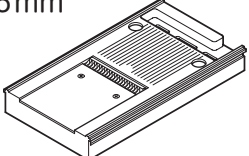
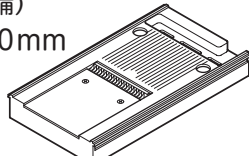
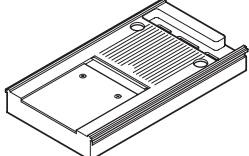
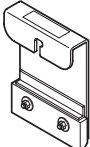
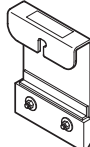
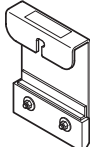
≡ 刃物盤と投入口ホルダーの組合せ (別売品) ≡

■ 別売オプション品の「千切盤」「スライス盤」を使うと【千切り】【短冊切り】【スライス】が簡単にできます。

※ カットサイズを変更する場合は、お使いの刃物盤・投入口ホルダーを別売オプション品に交換します。(刃物のみのサイズ変更はできません。)

交換のしかたは「**刃物盤の差替方法**」(9 ページ) を参照してください。

オプション品：千切盤・投入口ホルダー (ウレタンラバー (大) 付き) セット
スライス盤・投入口ホルダー (ウレタンラバー (大) 付き) セット

千切盤セット		スライス盤セット
千切盤 (厚さ) (幅) ● 1.0×1.0mm ● 1.2×1.2mm ● 1.5×1.5mm 	千切盤 (厚さ) (幅) 特殊サイズ (例) ● 2.0×2.0mm ● 2.0×10mm ● 2.5×2.5mm ● 3.0×10mm ● 3.0×3.0mm (標準装備) ● 4.0×4.0mm 	スライス盤 (厚さ) ● 0.3 ~ 2.5mm ● 3.0mm ● 4.0mm 
投入口ホルダー ウレタンラバー (大) を装着しているもの 	投入口ホルダー ウレタンラバー (大) を装着しているもの 	投入口ホルダー ウレタンラバー (大) を装着しているもの 

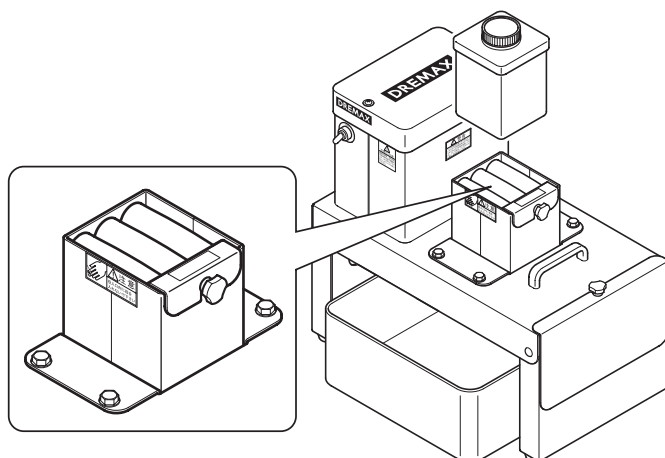
その他 特注品として

千切盤セット	● 5.0×5.0mm ● 6.0×6.0mm ● 8.0×8.0mm ● 10.0×10.0mm
スライス盤セット	● 5.0mm ● 6.0mm ● 8.0mm ● 10.0mm

価格、納期等のご相談・ご注文は販売店までご連絡ください。

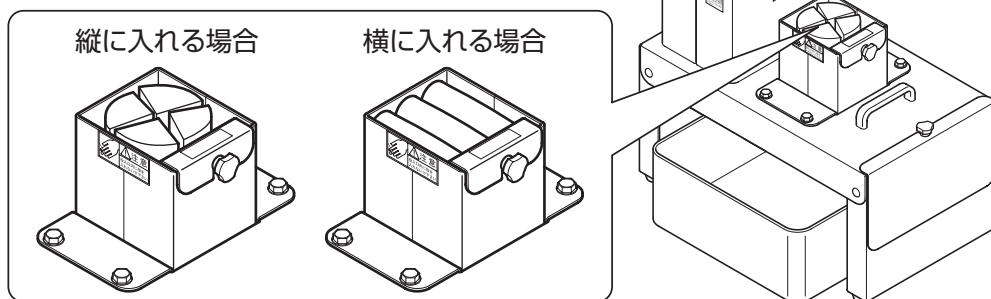
千切り・短冊切り

- 食材を刃物盤の往復方向と平行に寝かせて、なるべく隙間なく入れてください。
隙間があるとうまく切れない場合があります。



スライス

- 食材を縦に入れる場合、なるべく隙間なく入れてください。
隙間があるとうまく切れない場合があります。
- 食材を横に入れる場合、刃物盤の往復方向と平行に寝かせて入れてください。

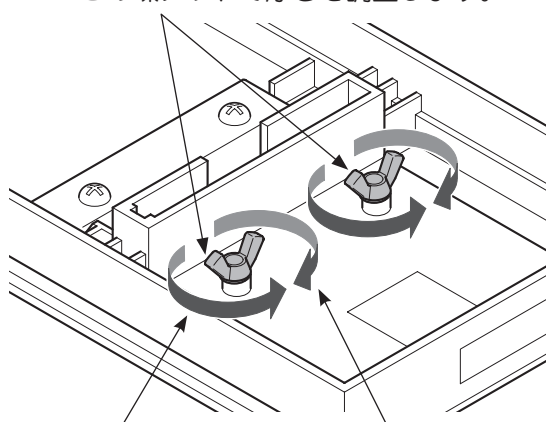


※スライス盤 0.3 ～ 2.5mm (別売りオプション品) の厚さ調整方法

スライス盤の裏側にある蝶ナットを回して、厚さを調整をします。

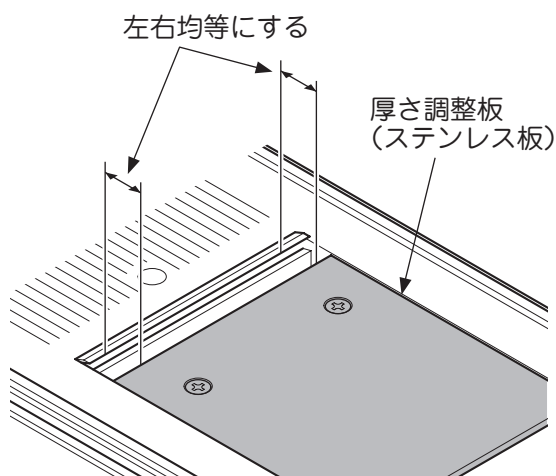
目盛りはありませんので、平刃と厚さ調整板の隙間を確認しながら、厚さの調整をおこなってください。

この蝶ナットで厚さを調整します。



反時計方向で、厚くカット。

時計方向で、薄くカット。



平刃と厚さ調整板(ステンレス板)の隙間を確認し、左右均等になるように蝶ナットを回し調整してください。

刃物盤の差替方法

1 ノブナット（投入口ホルダー用）をゆるめて投入口から投入口ホルダーを取り外します。

2 ノブナット（前カバー用）をゆるめて前カバーを本体シャーシから取り外します。

3 本体シャーシにセットされている刃物盤を手前に引き抜きます。

◎ 刃物盤を軽く前後に動かしながら引き抜いてください。

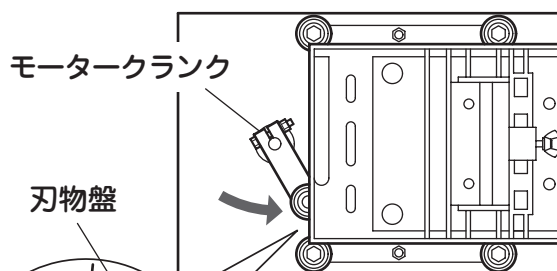
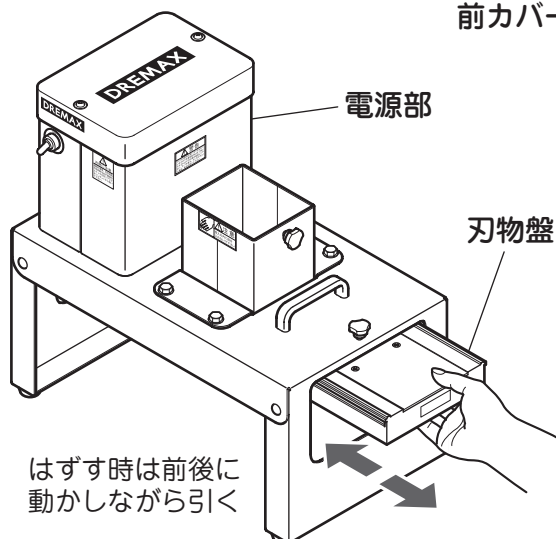
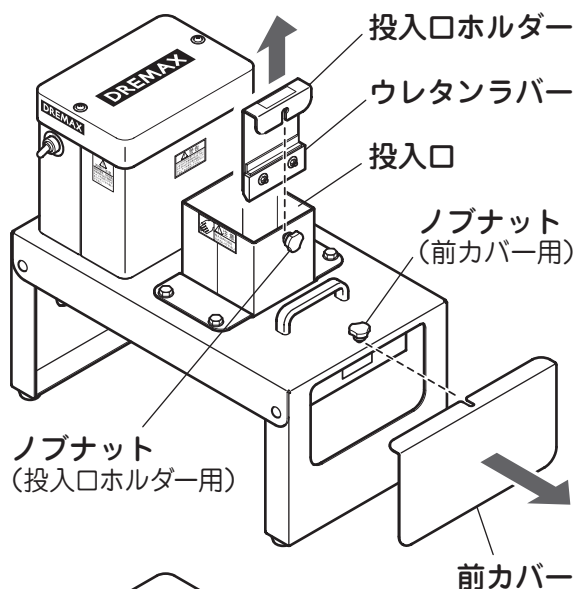
◎ 外れにくい場合は、本体を横に寝かせて、電源部のモータークランクベアリングが刃物盤のクランク溝からはずれないように調節しながら引き抜いてください。

4 カットサイズに合った刃物盤を選び、本体ベアリングに左右の溝を合わせて挿入します。

5 刃物盤を電源部の下までスライドさせて、モータークランクベアリングを刃物盤のクランク溝に入れてください。

6 刃物盤を正しくセットしたら、一旦ON/OFFスイッチを「ON」にして刃物盤が前後にスライドするかテストしてください。

◎ 確認後は必ずON/OFFスイッチを「OFF」にしてください。



モータークランクベアリングを刃物盤のクランク溝に合わせる

本体ベアリングに刃物盤の左右の溝を合わせる

〈下から見た図〉

クランク溝

本体ベアリング (左右各2個)

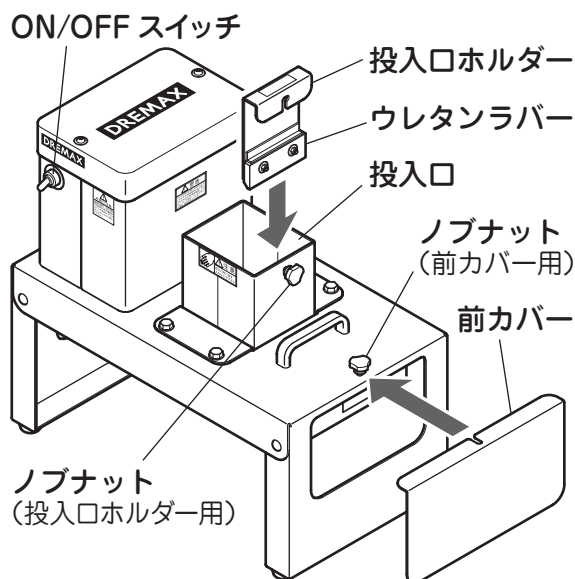
- 7** セットした刃物盤と同じ組み合わせの投入口ホルダーを投入口に取り付けてノブナットでしっかりと固定します。

注意



強制

必ず、刃物盤のサイズに合った投入口ホルダーを使用してください。



- 8** 前カバーを本体シャーシに取り付けてノブナットで固定してください。

注意



強制



刃物注意

刃物盤が正しくセットされていない状態で投入口ホルダー・前カバーを取り付けて運転すると、破損の原因になります。必ず、モータークランクベアリングを刃物盤のクランク溝に入れてください。

また、刃物盤を取り扱う際は、クシ刃・平刃に十分ご注意ください。

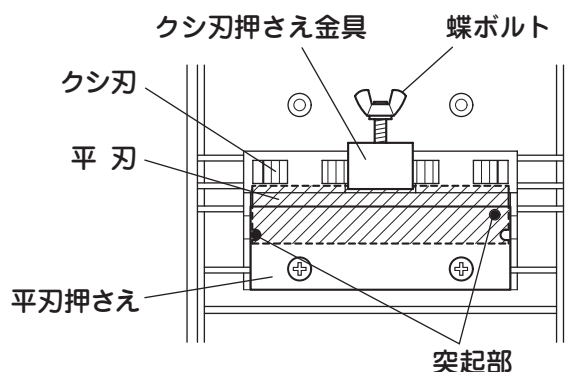
刃物の交換方法

切れ味が悪くなった場合は、刃物を交換してください。

各種刃物は別売品です。

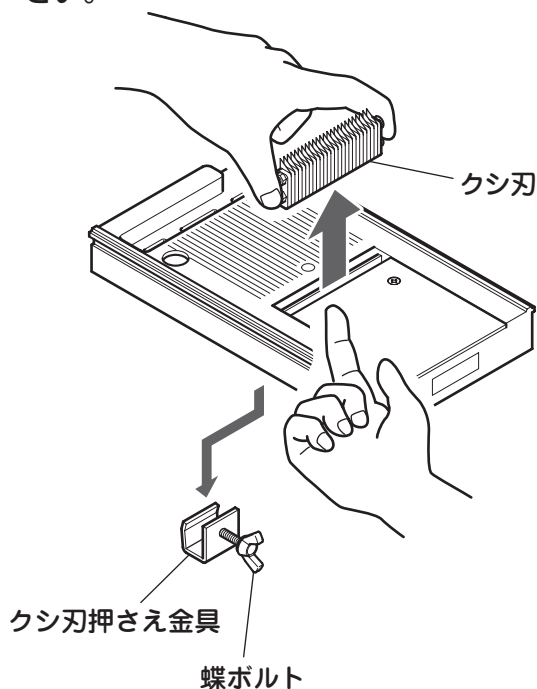
ご注文・ご相談は販売店までご連絡ください。

〈刃物盤の裏面〉



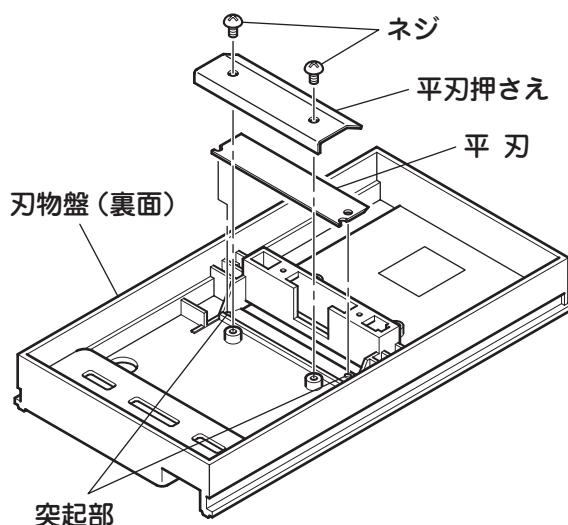
クシ刃の交換

- 刃物盤の裏面にある蝶ボルトをゆるめてクシ刃押さえ金具を取り外してください。
- 下側からクシ刃を指で押し上げて取り外し、交換してください。
取り付の際は、クシ刃を取付部の下までしっかりと落とし込んでください。
このとき、クシ刃を入れる向きに注意してください。(次ページ参照)
- クシ刃押さえ金具を取り付け、蝶ボルトをしっかりと締めてクシ刃を固定してください。



平刃の交換

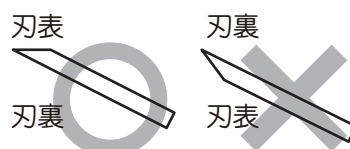
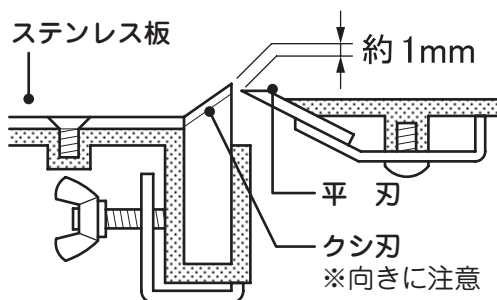
- ※ 必ず、クシ刃を取り外してからおこなってください。(クシ刃の交換 参照)
- 刃物盤を裏返してネジ2本をはずし、平刃押さえと平刃を取り外してください。
- 平刃を交換してください。
取り付ける際は、取付部の突起部に平刃の穴を合わせてください。
平刃の向きは斜めに刃が付いている方が表側です。(次ページ参照)
- 平刃押さえを取り付け、ネジ2本で固定してください。
- クシ刃を取り付けてください。



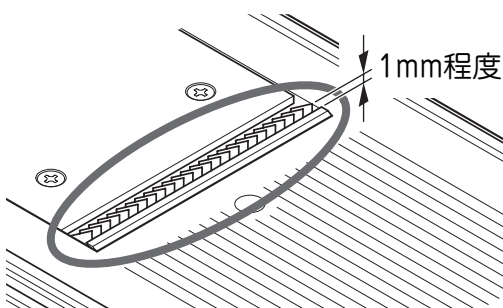
※ クシ刃・平刃を刃物盤に取り付ける際は、刃の向きにご注意ください。
取り付ける向きを誤ると食材がカットされません。

● 平刃よりクシ刃を 1mm 程度上にしてください。

● 平刃のカット面を上にしてください。

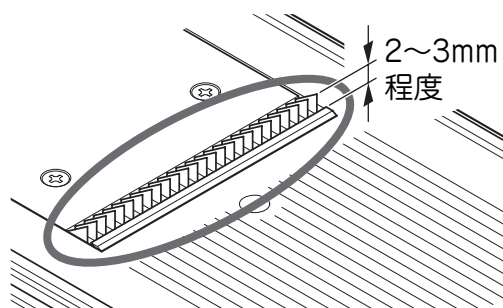


正しいクシ刃の位置



クシ刃が平刃より 1mm 程上に出ているのが正常な位置です

クシ刃がきちんと挿入されていない例



クシ刃が平刃よりも上がりすぎている状態です。(2～3mm 程上がってしまっています。) 差込口にクシ刃を挿入する際、少々力を入れて押し込む必要があります。下まで押し込みをせずに途中で止めてしまいますと、上の図のようになります。ご注意ください。

警告



危険ですので刃物の取り扱いには十分ご注意ください。けがの原因になります。

刃物注意

お手入れ方法

製品の性能保持のため、ご使用後は必ずお手入れしてください。

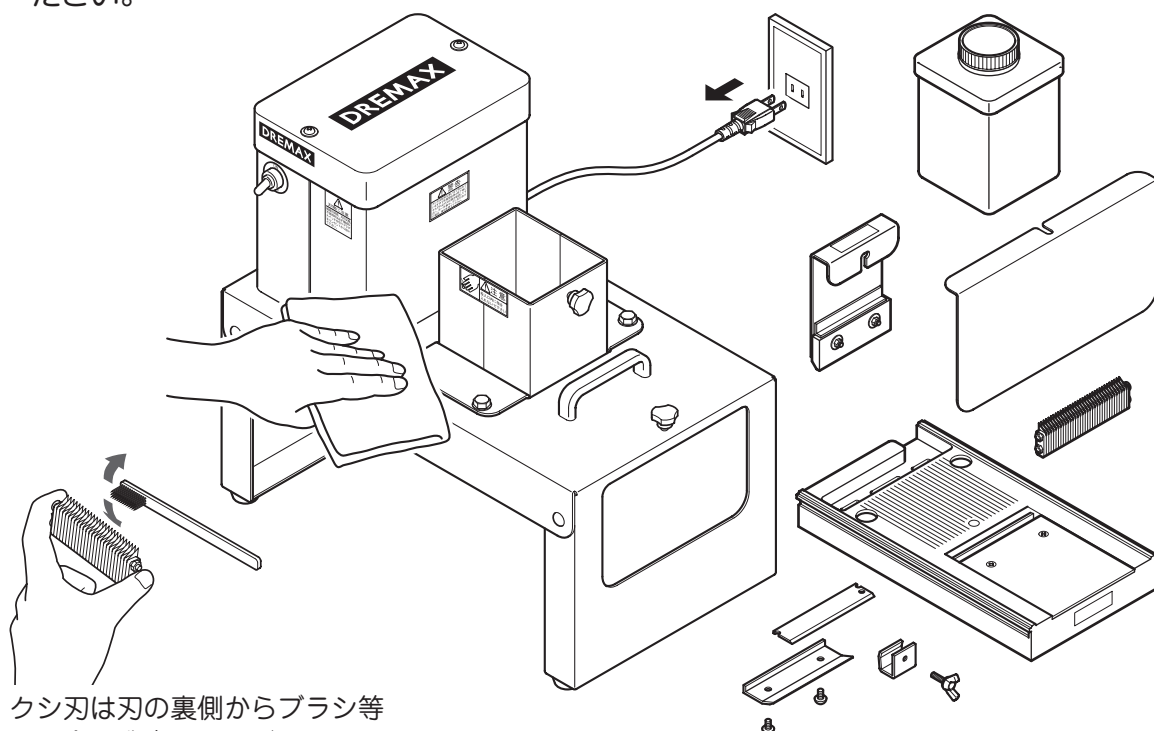
ご使用後は、付着した食材が乾いてこびりつく前に記載どおりの手順できれいに洗浄して取り除いてください。洗い残しが故障の原因になることがあります。
手入れ不足による故障の場合、有償修理となります。

警告



危険ですので刃物の取り扱いには十分ご注意ください。けがの原因になります。

1. ON/OFF スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 投入口ホルダー・前カバー・刃物盤をはずし、さらに刃物盤からクシ刃・平刃をはずして、各部品をすべて水洗いしてください。
洗浄後は必ず乾いた布で水気を拭き取ってください。
 - 刃物盤のはずし方：「刃物盤の差替方法」9 ページ参照
 - クシ刃・平刃のはずし方：「刃物の交換方法」11 ページ参照
3. 本体は濡れ布巾等で全体をきれいに拭いた後、乾いた布で水気を拭き取ってください。本体カバー部、機構部分には水をかけないでください。特に本体カバーにヒビや欠け等の破損があった場合、内部に水が入り故障の原因になります。
4. お手入れ後は、各部品を正しく取り付け、ノブナット・ネジ等をしっかりと締め付けてください。



クシ刃は刃の裏側からブラシ等で丹念に洗浄してください。
表側からブラシをかけると刃を傷めます。

仕 様

機 械 寸 法	W 470 × L 280 × H 430 (mm)
投 入 口	W 100 × L 100 × H 120 (mm)
定 格 消 費 電 力	165/200 W
重 量	13 kg
処 理 能 力	30 分
付 属 品	千切盤（標準装備 3.0×3.0mm）、押し

刃物盤：別売オプション品

千 切 盤	1.0×1.0mm/1.2×1.2mm/1.5×1.5mm 2.0×2.0mm/2.5×2.5mm/3.0×3.0mm 4.0×4.0mm 特別サイズ（例）2×10mm/3×10mm その他特注品
スライス盤	0.3～2.5mm/3.0mm/4.0mm その他特注品

ご注文・ご相談は販売店までご連絡ください。

ちょっとお調べください

故障かな？…とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください
刃物盤が抜けない	投入口ホルダーに引っかかっている	投入口ホルダーをはずしてから刃物盤をはずしてください
刃物盤が入らない	刃物盤のクシ刃が出すぎている	クシ刃を一旦取り外し、11 ページ「刃物の交換方法」を参照して正しく入れ直してください
刃物盤が飛び出る	刃物盤が正しく入っていない	刃物盤を一旦取り出し、9 ページ「刃物盤の差替方法」を参照して正しく入れ直してください

保証とアフターサービス

よくお読みください

使い方・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へ ご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

お買い求め先

電 話

お買い上げ日 年 月 日

●保障期間中は、下記の規定に従ってお買い求め先が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保障期間：お買い上げ日から 本体 1 年間

1. 保証規定

- ① 本製品の保証期間はご購入日より 1 年間とさせていただきます。保証期間内で取扱説明書に従い、通常のご使用状態において、製造上の不備に起因する不具合について保証いたします。
- ② 本保証は日本国内においてのみ有効となります。
- ③ 本製品の故障などに起因する二次的な災害（他の機械の破損など）・損失については一切責任を負いかねますのでご了承ください。

保証書は必ず『お買い上げ日・販売店名』等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保障期間はお買い上げから 1 年間です。

2. 修理を依頼されるとき

「おかしいな？」と思ったら、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証期間中は……

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書（取扱説明書）を添えてご持参ください。

保証期間が過ぎているときは……

お買い上げの販売店へご依頼ください。
修理すればご使用になれる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるときは

「取扱説明書」でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い求め先へご連絡ください。

製 品 名 1000 切りロボ

品 番 DM-91D

故障の状況 できるだけ具体的に

愛情点検

長年のご使用のため 1000 切りロボの点検をぜひ！

このような症状はありませんか？	ご使用中に電源コード・電源プラグが異常に熱くなる。
	電源コードを曲げると通電したり、しなかったりする。
	いつもより異常に音、振動が大きくなる。
	その他異常、故障がある。

ご使用にならないでください。

故障や事故防止のため ON/OFF スwitch を「OFF」にし、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。
点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

安全に関するご注意

- ご使用前に【取扱説明書】をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
 - 取り扱いを誤りますと火災や事故の原因となります。
※ 保証期間中であっても、次の場合は有料になりますので、ご注意ください。
- (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (2) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - (3) 火災・地震・風水害・落雷その他天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (4) 消耗品（クシ刃・平刃・ウレタンラバー・ベアリング・押し）および消耗による故障。
 - (5) 清掃不足による故障

保証書

型式 1000 切りロボ DM-91D			
お客様	お名前	ふりがな	保証期間 1 年
	ご住所	〒□□□□-□□□□	お買い上げ日 年 月 日から
	お電話		販売店 店名 電話

株式会社ドリマックス

〒332-0032

埼玉県川口市中青木 5-9-13 TEL:048-254-1231 FAX:048-254-1331

URL <http://www.dremax.com>

注）製品は改良のため予告なく仕様、デザインを変更することがあります。

検品者

2017.09